

分野1 | 一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち

産業・仕事



**暮** らしの安心や地域への活力をもたらす働く場の確保は、住民の皆さんの強い願いです。地域の暮らしを支えてきた織物業や、安心安全で豊かな食を支えてきた農業以外にも、地域資源に新たな価値を見出し、起業や事業拡大に取り組む新たな挑戦も生まれてきています。時代に合わせて「変化すること」、培ってきた知恵・技・資源を最大限に活用し互いに共創しながら変化に「挑戦すること」、そして、それをまちのみんなで「応援すること」で人財を育み、「一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち」をめざします。

基本  
施策

- 挑戦が生まれる風土づくり
- 農林業の振興
- 織物業の振興
- 商工業の振興
- 魅力ある働く場の創出



分野2 | 地元を誇りに想い人の流れを生むまち

観光・交流・移住定住



**こ** のまちで暮らす人々が地元の魅力を認識し、愛し、誇りに思うことによって、「訪れたい」「住んでみたい」まちとして、人の流れが生み出され、まちを離れた人も故郷を想うことにつながります。人の流れは来訪者と住民との交流を増やし、与謝野町ならではのおもてなしが「つながりの輪」を広げていきます。そういった関係人口を世界中に多く生み出し、移住者やU・Iターン者が増え、まちがにぎやかで元気あふれるよう、「地元を誇りに想い人の流れを生むまち」をめざします。

基本  
施策

- ファンづくりの推進
- まちの魅力を活かした観光振興
- まちの魅力を活かした移住・定住の促進

分野3 | みんなが自分らしく幸せに生きるまち

健康・福祉



**自** 分らしく生きるためには、心と体の健康が大切です。しかしながら、核家族や単身世帯の増加、コロナ禍などの影響を受け、人や地域とのつながりが希薄になっており、多様化する心の悩みや不安を和らげる「心のよりどころ」が求められています。心と体が健康であれば、暮らしの質を維持・向上できるだけでなく、人を思いやる余裕が持て、多様性を受け入れること・人とつながること・誰かを助けることもでき、まちの元気にもつながります。まずは一人ひとりが心身ともに健康になり、地域とつながることで、「みんなが自分らしく幸せに生きるまち」をめざします。

基本  
施策

- 健康・福祉を支える人財の育成と確保
- 元気な体づくりの推進
- 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進

特集2

第2次与謝野町総合計画後期基本計画

みんなでつくりあげた総合計画

平成30年3月に策定した「第2次与謝野町総合計画」の前期基本計画の計画期間が令和4年度末に終了することから、新たに令和5年度から8年度までの4年間を計画期間とする後期基本計画を令和5年3月に策定しました。今月号は、多くの方との協働により策定した計画について、分野別の方針と基本施策を中心にお伝えします。

企画財政課 ☎ 43-9015

まちづくりの羅針盤

総合計画は、与謝野町のまちづくりの指針となる最上位の計画です。今回策定した後期基本計画は、基本構想に示す町の未来像「人・自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来」の実現に向け、具体的な施策やめざすべき指標などを明らかにし、計画的な行政運営を行うための方針とするとともに、個別に作成される諸計画の基本となるものです。

まちの未来をみんなで描く

まちづくりの基本理念として掲げる「みんな」「みらい」「みえる」を踏まえ、策定にあたっては、「まちの未来をみんなで描く」ことを方針に進めました。よさのみらい会議やまちづ



くりアンケートなどにより、延べ1000人の住民の皆さんが計画づくりに参画。与謝野町総合計画審議会（以下、「審議会」）での審議、行政内部での協議を経て作成された計画案は、令和5年3月定例会で議決いただきました。

後期基本計画の特長

後期基本計画では、計画期間内に重点的に取り組む施策や分野を横断する施策を「重点プロジェクト」として位置付け推進することとしています。

また、各分野の基本施策ごとに、施策の進捗を見る指標設定や、SDGs（持続可能な開発目標）との関連付を行ったほか、予算・決算と連動した実効性ある計画とするため、実施計画も定められました。

指標やSDGsとの関連、実施計画は、町ホームページをご覧ください

